

電子商取引

教科	商業	単位数	4	学科・学年・コース	総合ビジネス科3年（総合コース）
使用教科書	電子商取引 （実教出版）			副教材等	30時間でマスターシリーズ Webデザイン

◇ 学習の到達目標 ◇

- ① 情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を学び、情報通信ネットワークの活用を通じてその意義や課題についても学習します。
- ② 情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を学習します。
- ③ 朝学習R-timeを通して、基礎・基本の定着を図るとともに、商業に関する技術の向上を目指します。

◇ 科目の特色 ◇

- ① Webデザイン制作の技術を習得し、作品を制作します。
- ② 電子商取引のしくみを理解し、ビジネスとの関連性について理解を深めます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	第1章 情報通信技術の進歩とビジネス 第2章 コンテンツの制作	情報通信ネットワークの発達がビジネスにどう変化をもたらしたかを学習し、電子商取引について学習します。 マルチメディア系ソフトウェアを活用しながらコンテンツの基本的作成方法について学習します。
7 9	第3章 ウェブデザインと広告・広報	現在公開されている様々なWebページを研究しながら、顧客をひきつけるWebデザインについて理解を深めます。
10 11	第4章 ウェブページの公開	Webページを公開するためのしくみや技術について学習し、注意事項等も説明しながら情報モラルの要素も取り入れた学習を行います。
12 2	第5章 電子商取引とビジネス	電子商取引のしくみを理解し、ビジネスとの関連性について理解を深めます。1月からはWebページに取り入れる事を意識したコンテンツの作品制作を行います。

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	Web ページデザインに必要な知識・技術に興味を持ち、意欲的にコンテンツ制作に取り組んでいるか。
思考・判断・表現	使用するソフトウェアの操作方法を習得し、適切な文書や作品をWeb ページとして作成することができるか。
技能	使用するソフトウェアの操作方法を習得し、効果的にデザインすることができるか。
知識・理解	Web デザインに必要な知識を理解し、活用しているか。

このため、具体的に次のものを対象とします。

- ① 授業中における学習態度
 - ② 課題への取り組み状況
 - ③ 出席状況
 - ④ 作品・発表評価
 - ⑤ 定期考査（なお④を考査の代替にする場合あり）
- また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

私達が日常PCやスマートフォンを活用して行っているインターネットを通じた商取引から、企業間における電子商取引のしくみを学習します。利用者視点だけでなく、経営側、ウェブページ運用側の立場に立った学習を行い、将来、企業等に就職した際に役立つ力を身につけていきます。
また、マルチメディア系ソフトウェアの活用を通じて、コンピュータ内でのWebデザイン活用能力の向上を目指します。自身が持つデザイン力を高める授業として最適です。